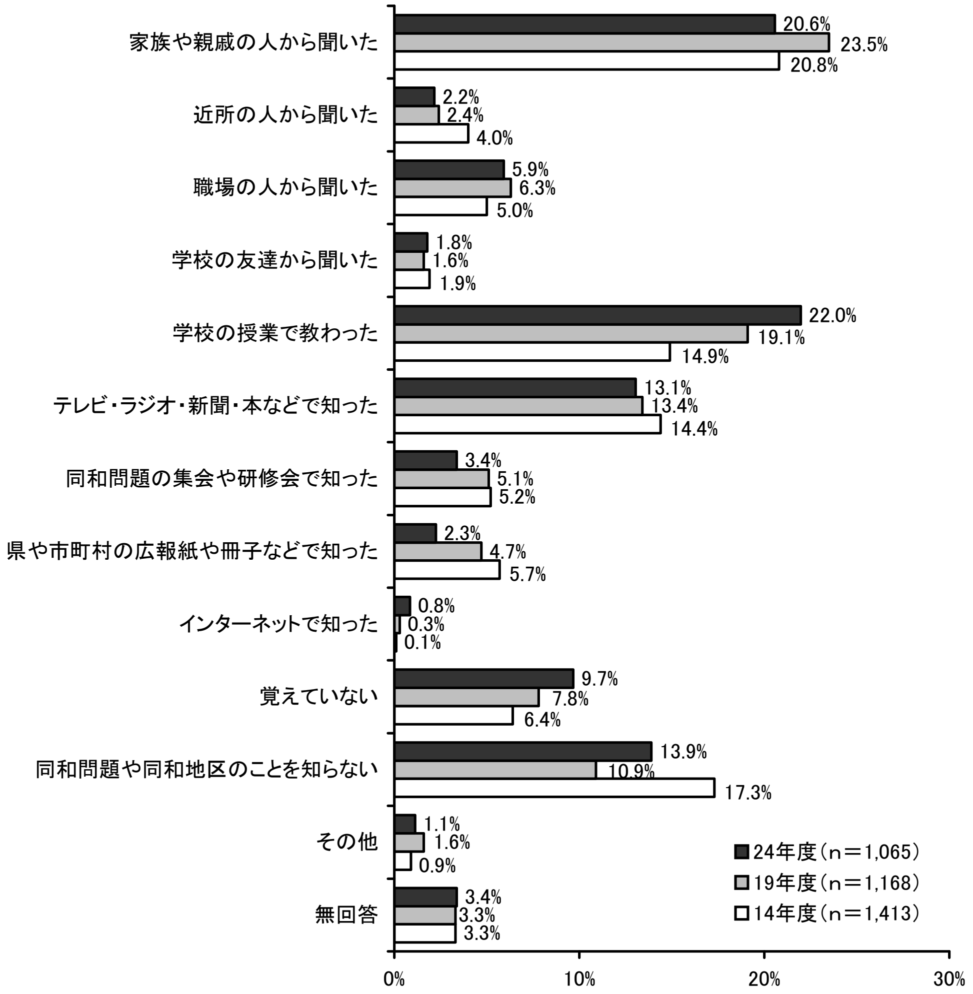
3-6　同和問題について

（１）同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけ

問26　あなたが同和問題や同和地区について、はじめて知ったきっかけは何ですか。次の中から１つだけ選んで〇をつけてください。



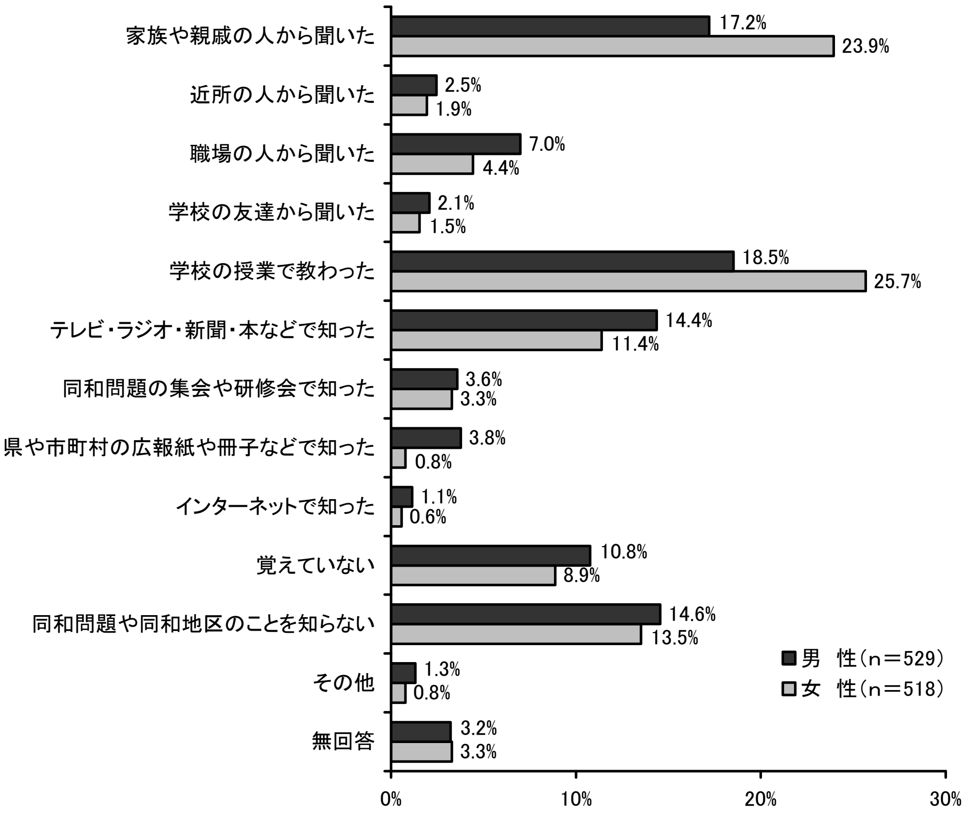
■「学校の授業で教わった」が 22.0％で最も高く、次いで「家族や親戚の人から聞いた」が 20.6％、「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」が 13.1％の順となっている。

■一方で「同和問題や同和地区のことを知らない」は 13.9％と相対的に高くなっている。

【前回比較】

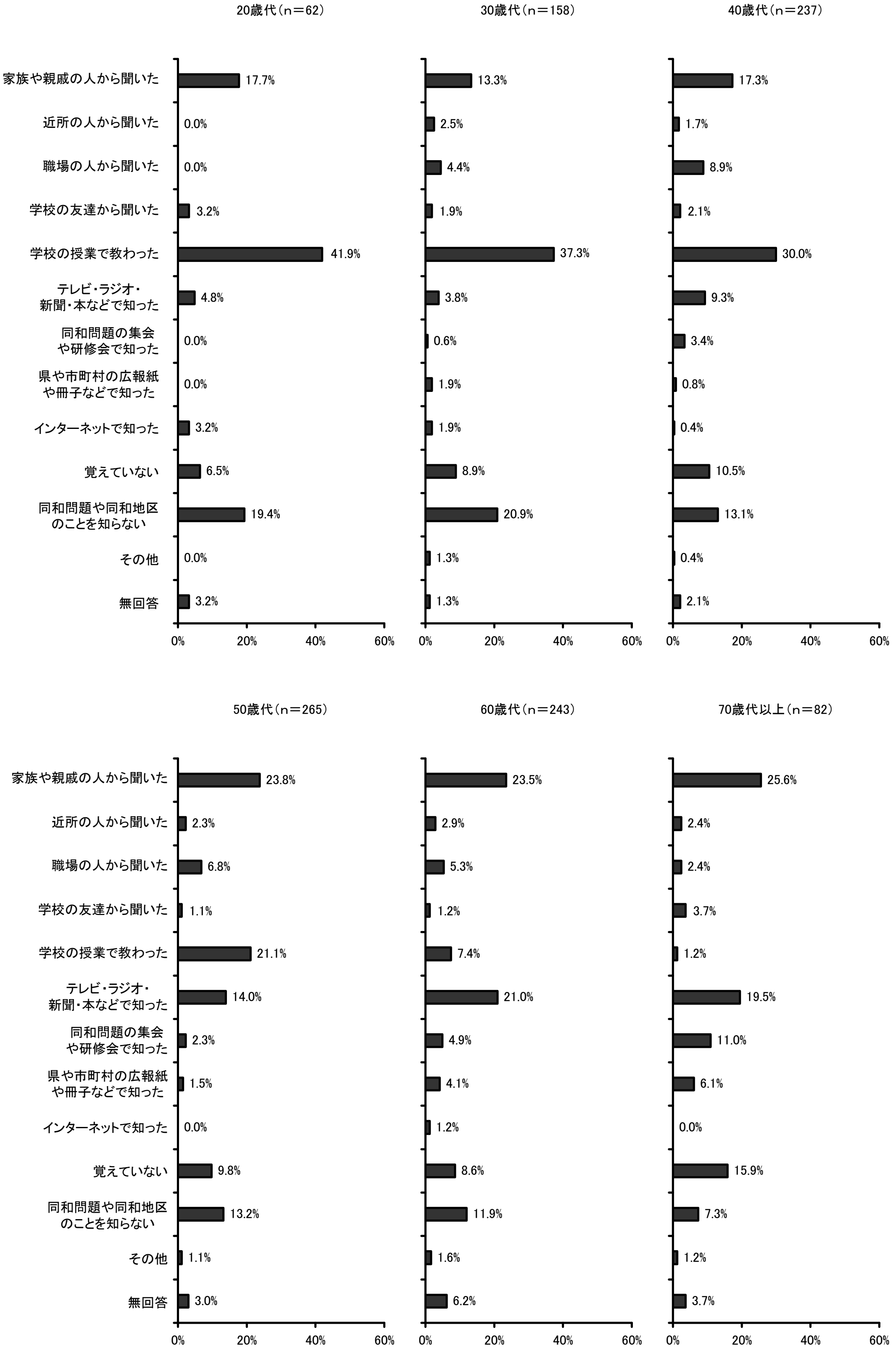
■「学校の授業で教わった」は前回に比べ 2.9 ポイント、「同和問題や同和地区のことを知らない」は 3.0 ポイント増加している。

男女別



■「家族や親戚の人から聞いた」「学校の授業で教わった」の割合は女性が高く、「職場の人から聞いた」「テレビ・ラジオ・新聞・本などで知った」の割合は男性がやや高い。

年代別



20歳代（n＝62）
30歳代（n＝158）
40歳代（n＝237）
家族や親戚の人から聞いた
近所の人から聞いた
職場の人から聞いた
学校の友達から聞いた
学校の授業で教わった
テレビ・ラジオ・
新聞・本などで知った
同和問題の集会
や研修会で知った
県や市町村の広報紙
や冊子などで知った
インターネットで知った
覚えていない
同和問題や同和地区
のことを知らない
その他
無回答
17.7%
0.0%
0.0%
3.2%
41.9%
4.8%
0.0%
0.0%
3.2%
6.5%
19.4%
0.0%
3.2%
13.3%
2.5%
4.4%
1.9%
37.3%
3.8%
0.6%
1.9%
1.9%
8.9%
20.9%
1.3%
1.3%
17.3%
1.7%
8.9%
2.1%
30.0%
9.3%
3.4%
0.8%
0.4%
10.5%
13.1%
0.4%
2.1%
0%
20%
40%
60%
50歳代（n＝265）
60歳代（n＝243）
70歳代以上（n＝82）
23.8%
2.3%
6.8%
1.1%
21.1%
14.0%
2.3%
1.5%
0.0%
9.8%
13.2%
1.1%
3.0%
23.5%
2.9%
5.3%
1.2%
7.4%
21.0%
4.9%
4.1%
1.2%
8.6%
11.9%
1.6%
6.2%
25.6%
2.4%
2.4%
3.7%
1.2%
19.5%
11.0%
6.1%
0.0%
15.9%
7.3%
1.2%
3.7%

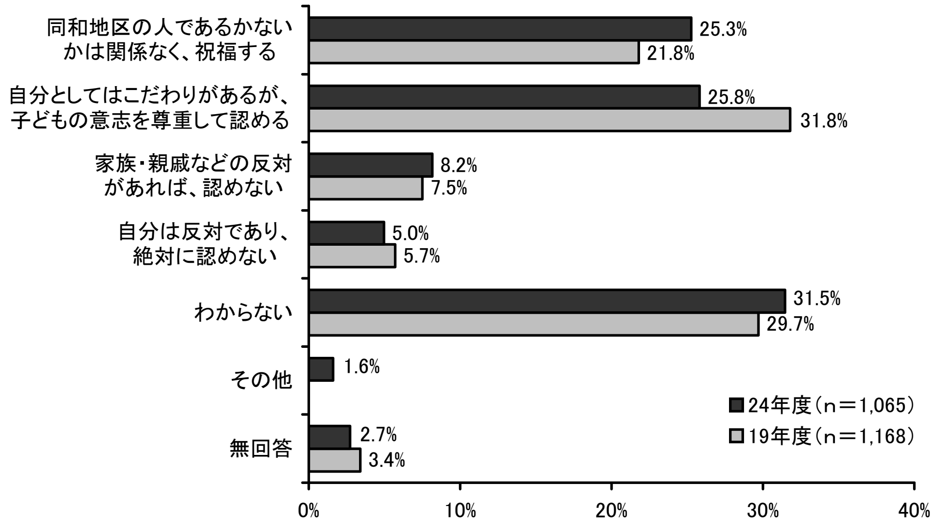
■「家族や親戚の人から聞いた」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

■「学校の授業で教わった」の割合は若い年代ほど高く、20 歳代で 4 割を超えている。

■「同和問題や同和地区のことを知らない」の割合は、若い年代ほど高くなる傾向がみられる。

（２）自分の子どもが同和地区出身の人と結婚すると知ったときの対応

問27　あなたのお子さんが（いらっしゃらない場合は、いると仮定してお考えください）、同和地区出身の人と結婚するとしたら、あなたはどうしますか。あなたの気持ちにいちばん近いものを次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



■「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」という“積極的な賛成”は25.3%、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」という“消極的な賛成”は25.8%で、“賛成”は51.1%と過半数を占めている。

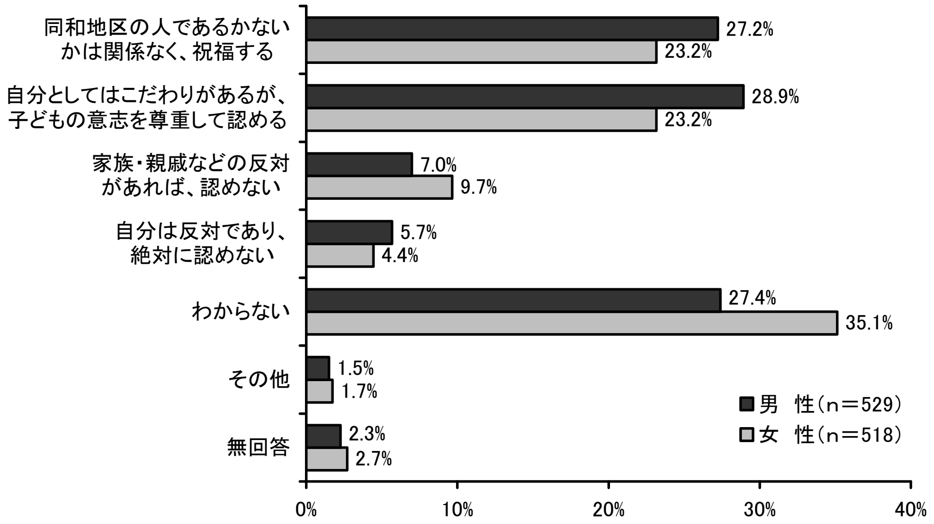
■一方で「家族・親戚などの反対があれば、認めない」「自分は反対であり、絶対に認めない」という“反対”は13.2%であった。

■「わからない」は３割を超えており、最も高くなっている。

【前回比較】

■「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」は前回に比べ3.5ポイント増加しており、「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」は6.0ポイント減少している。

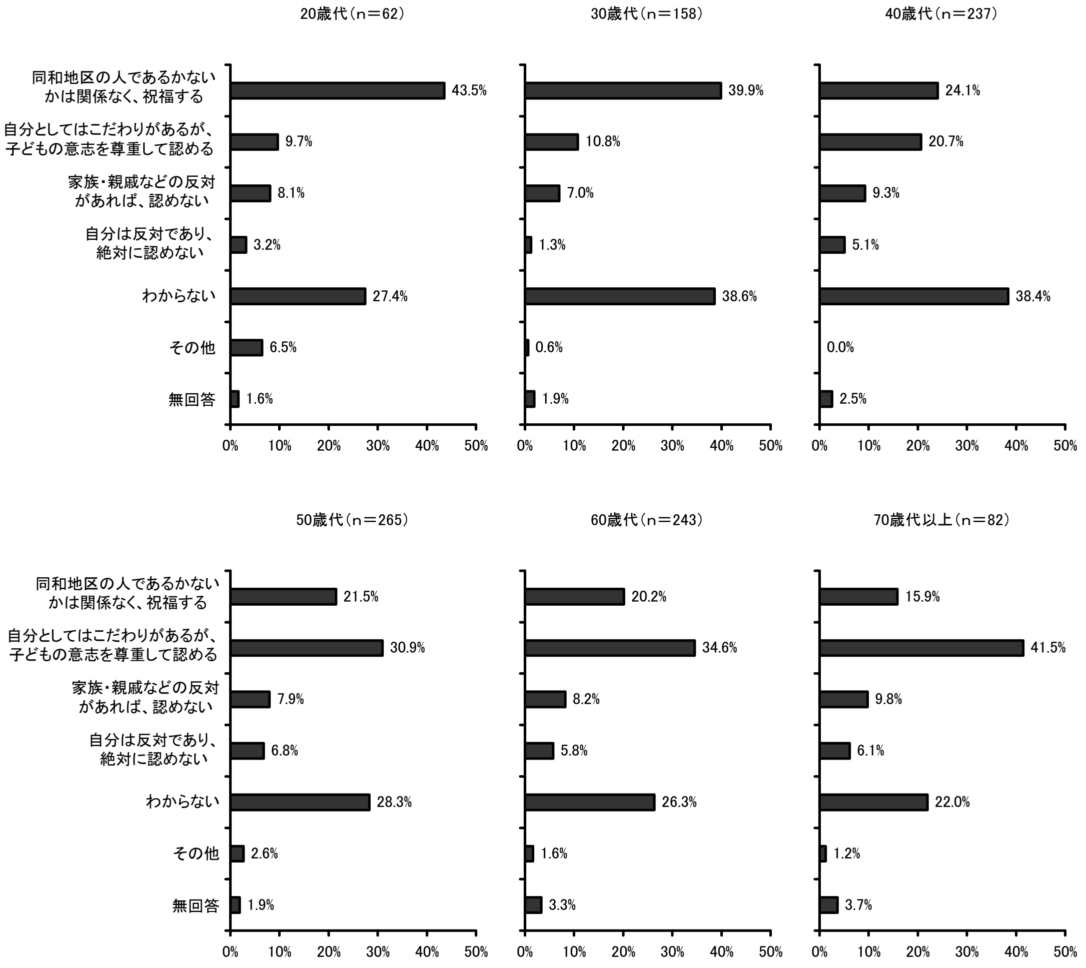
男女別



■「家族・親戚などの反対があれば、認めない」の割合は女性が、「自分は反対であり、絶対に認めない」の割合は男性がやや高い。

■「わからない」の割合は女性が高く、３割を超えている。

年代別

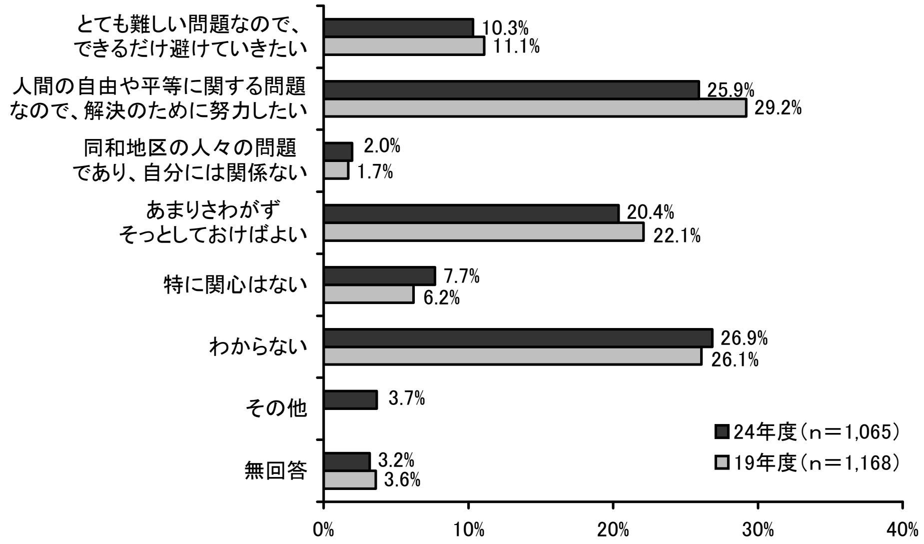


■「同和地区の人であるかないかは関係なく、祝福する」の割合は若い年代ほど高く、20 歳代で４割を超えている。

■「自分としてはこだわりがあるが、子どもの意志を尊重して認める」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

（3）同和問題についての考え

問28　同和問題について、あなたはどう考えますか。あなたの考え方にいちばん近いものを次の中から１つだけ選んで○をつけてください。



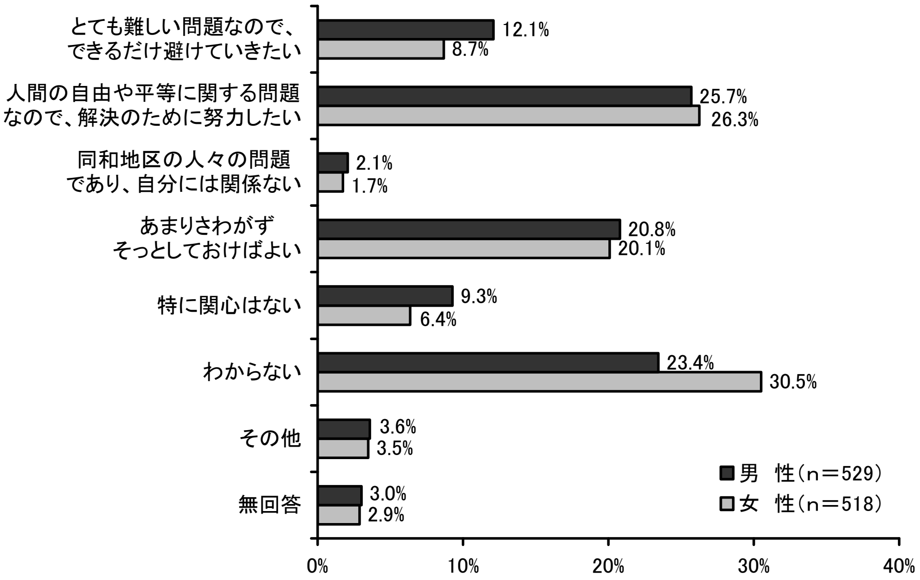
■「人間の自由や平等に関する問題なので、解決のために努力したい」が 25.9％と高く、次いで「あまりさわがずそっとしておけばよい」が 20.4％、「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」が 10.3％の順となっている。

■「わからない」は 26.9％で最も高くなっている。

【前回比較】

■「特に関心はない」は前回に比べ 1.5 ポイント増加している。

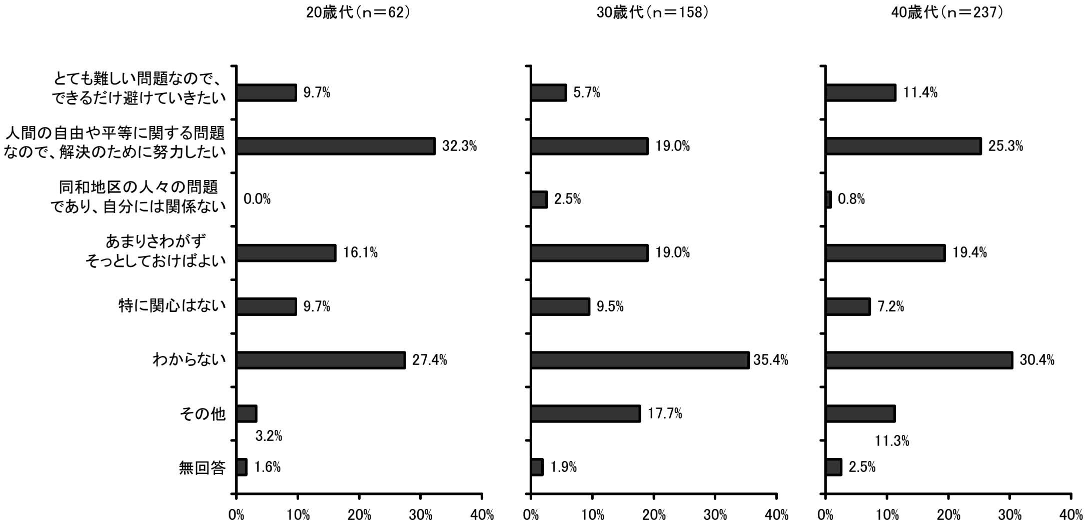
男女別

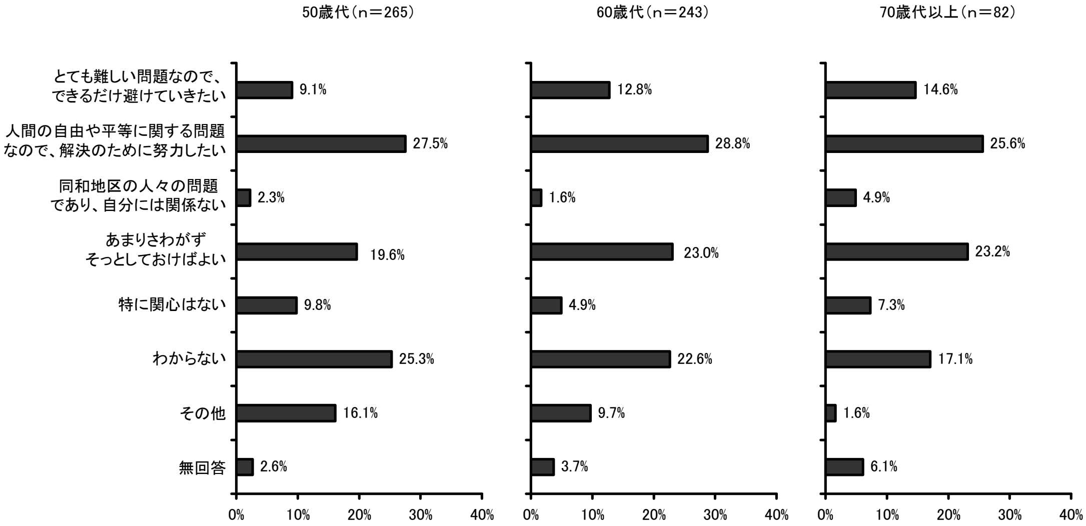


■「とても難しい問題なので、できるだけ避けていきたい」「特に関心はない」の割合は男性がやや高い。

■「わからない」の割合は女性が高く、３割を超えている。

年代別



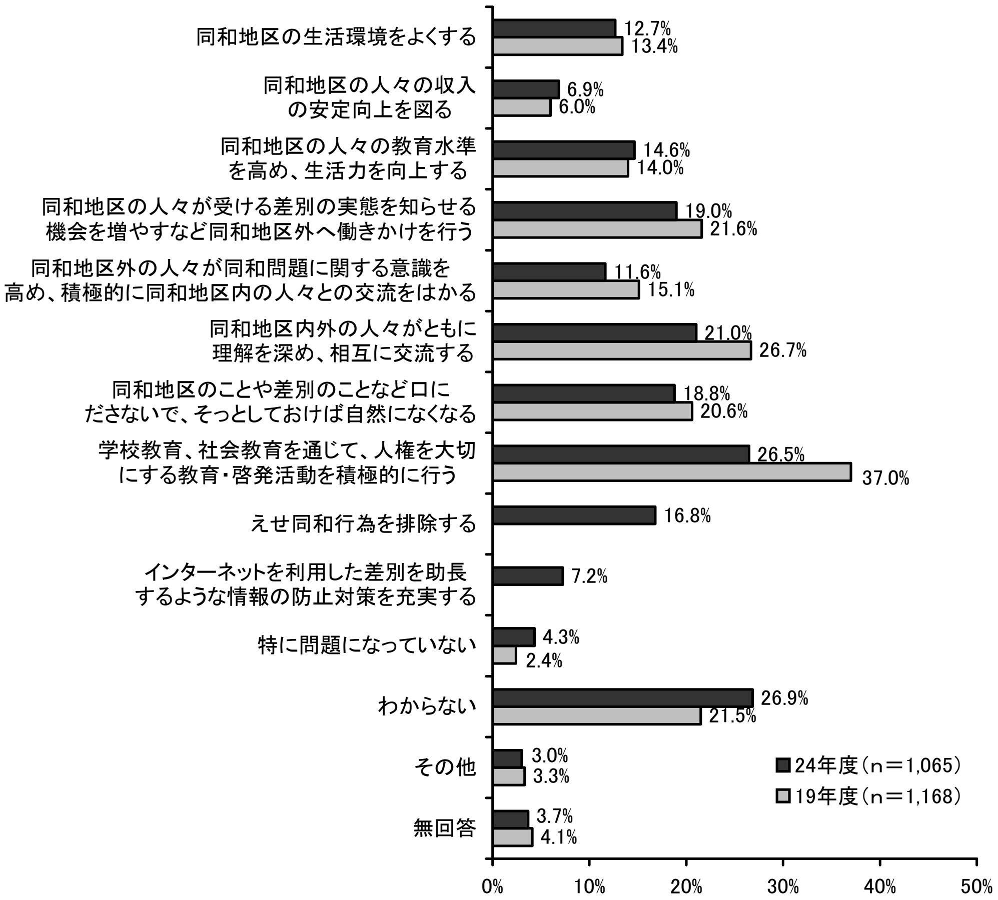


■「とても難しい問題なのでできるだけ避けていきたい」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。

■「わからない」の割合は若い年代ほど高く、30 歳代で 35.4%となっている。

（4）同和問題を解決する方法

問29　同和問題を解決するためには、どうしたらよいとお考えですか。重要だと思うものを次の中から３つまで選んで〇をつけてください。



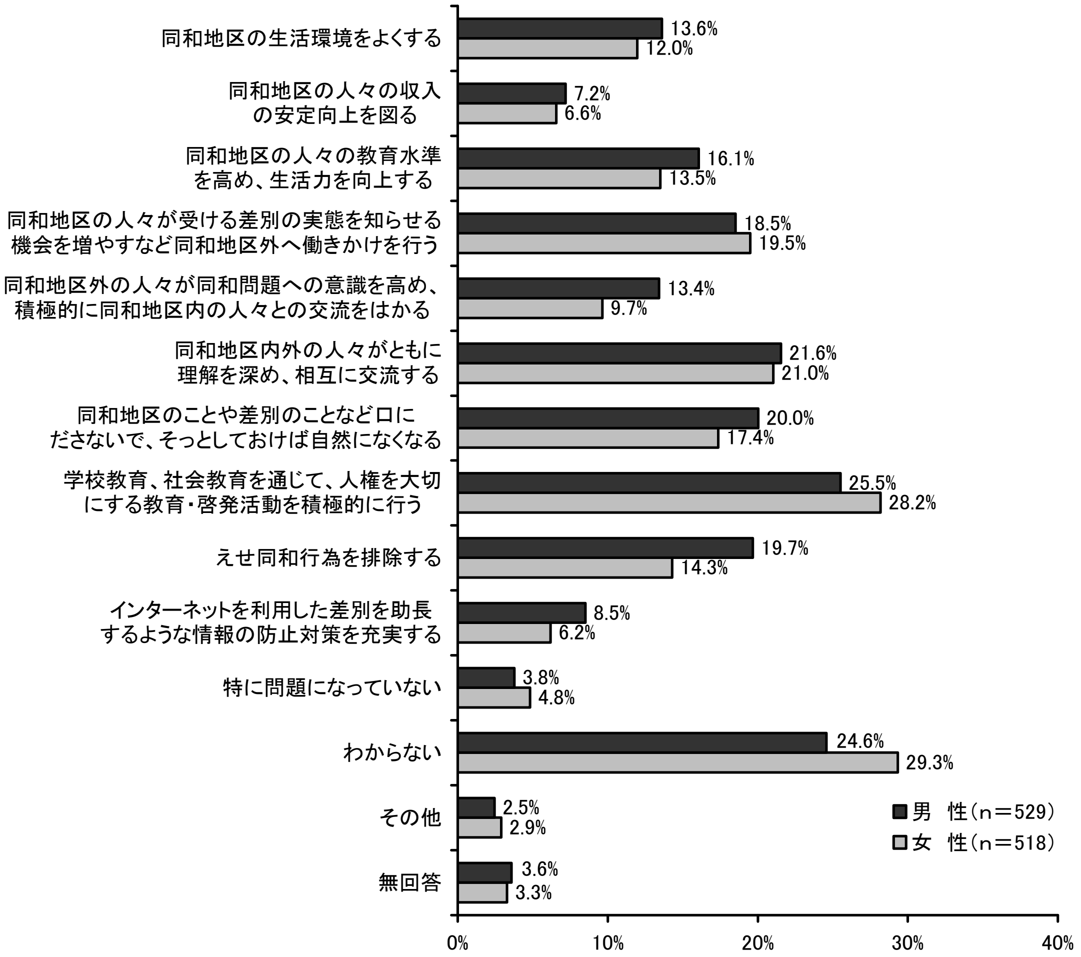
■「学校教育、社会教育を通じて、人権を大切にする教育・啓発活動を積極的に行う」が26.5％と高く、次いで「同和地区内外の人々がともに理解を深め、相互に交流する」が21.0％、「同和地区の人々の差別の実態を知らせる機会を増やすなど同和地区外へ働きかけを行う」が19.0％の順となっている。

■「わからない」は26.9％で最も高くなっている。

【前回比較】

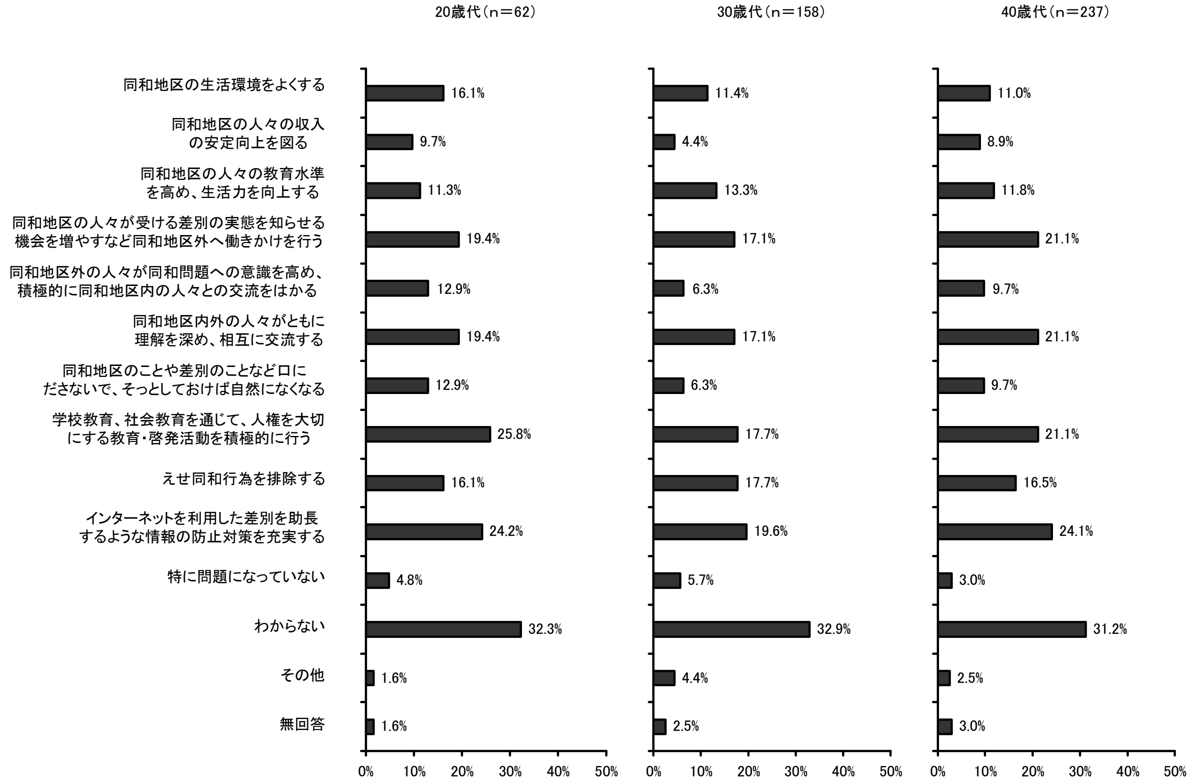
※「えせ同和行為を排除する」「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」の選択肢を追加したため、正確な比較はできない。

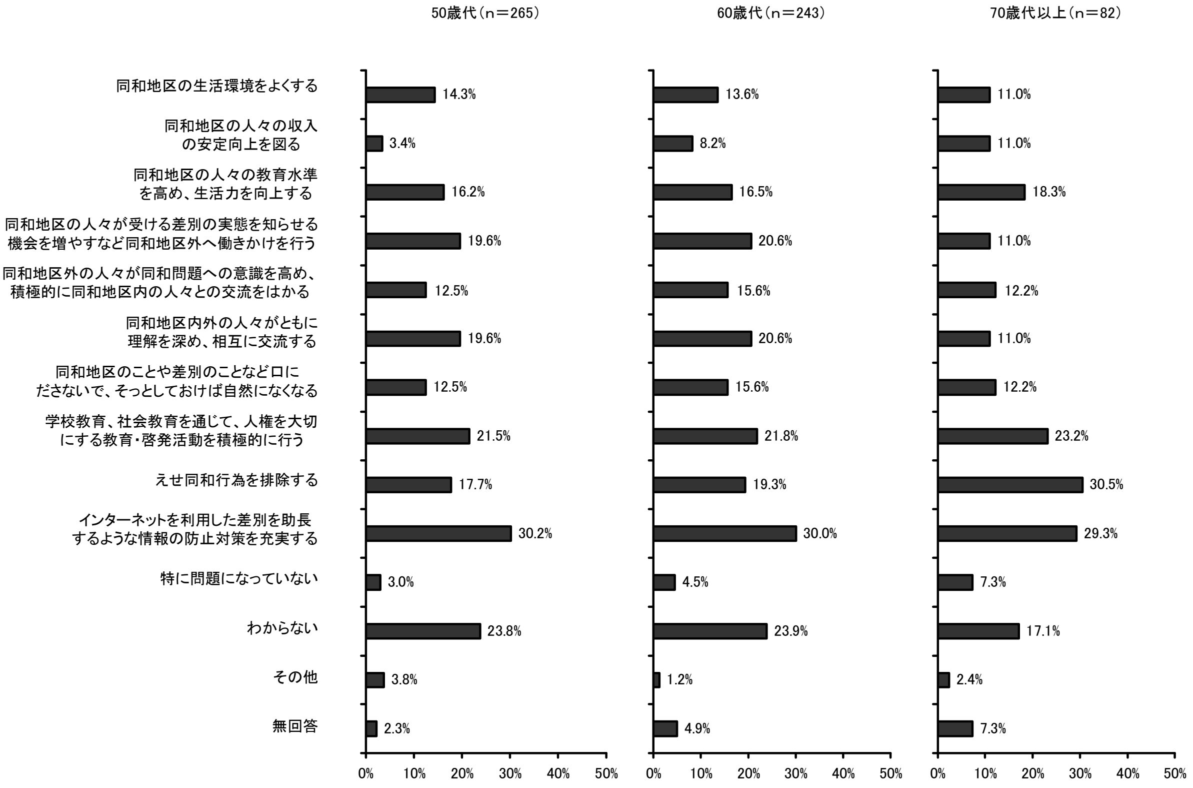
男女別



■「えせ同和行為を排除する」の割合は男性が、「わからない」の割合は女性がやや高い。

年代別





■「同和地区の人々の教育水準を高め、生活力を向上する」「えせ同和行為を排除する」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。